



一生に一度の卒業式

3月14日に市内7中学校で、同18日に13小学校で卒業式が行われました。今年の卒業生は2月1日現在、中学校が705人、小学校が684人です。各小中学校の学校運営協議会に所属する民生委員・児童委員や主任児童委員が来賓として参列して、卒業生や保護者に祝福のメッセージを送りました。式への参加は、民児協の活動計画の「地域福祉活動の推進」の「地域の教育機関と協力、協働します」だけでなく、児童生徒や保護者、地域住民への啓発活動にもなっています。

去年『アンパンマンソング』を熱唱した長野中学校の田中一弘校長は、今年は『川の流れるように』の歌詞を朗読して、卒業生たちにエールを送りました。また、東中学校では、元生徒会役員たちによる答辞に壇上の内本年昭校長がもらい泣きする一幕がありました。小学校の卒業式では、小山田小学校の安田由紀子校長が「桜梅桃李（おうばいとうり）」を引用して卒業生たちに、「人と比べることなく自分らしく個性を磨き、長所を認めて伸ばし、みなさん1人ひとりが独自の美しい花を咲かせてください」と述べました。川上小学校では、学校運営協議会委員たちが「か・わ・か・み」を折り句で卒業生たちと保護者に祝いのメッセージを送りました。式終了後、参列者の1人は「児童や生徒にとっては一度きりの卒業式。児童や生徒にとって記憶に残る式になったと思います」と感想を述べていました。



安田由紀子校長=小山田小学校



田中一弘校長=長野中学校





つながって一石多鳥

河内長野市と河内長野市社会福祉協議会は3月18日、市民交流センターキックス4階イベントホールで『地域ささえあいフォーラム 「つながり」が未来をひらく!』を開催し、民生委員・児童委員26人を含む74人が参加しました。今、薄れてきている地域の「つながり」は、すべての支えあい活動の原点です。今回のフォーラムは、新たにつながることでこれまでの悩みを解決した事例や、たくさんつながることで新たな活動が始まった事例を共有して、「つながり」の底力を感じてみることを目的としています。

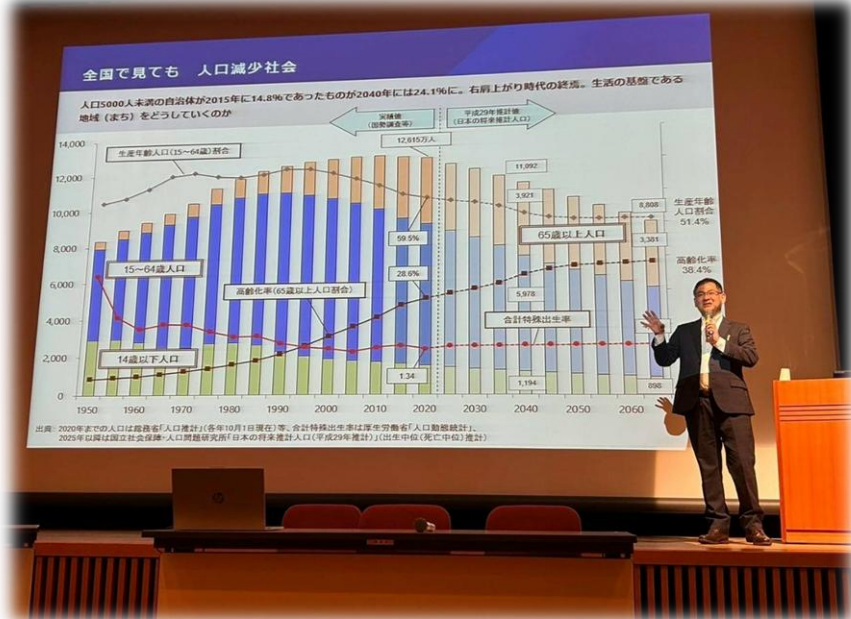
はじめに、厚生労働省の犬丸智則氏による基調講演『「つながり」が未来をひらく～地域共生社会の実現に向けて～』がありました。講演の中で犬丸氏は、人口減少社会に入った日本の単身世帯の増加や意識の個人化、人の暮らしの基盤となる「血縁」「地縁」「社縁」の脆弱化を指摘していました。「現代はまさに正解のない時代と言えます。その時代に求められるのが、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながる地域共生社会の構想です。そういった地域づくりの要素として、

居場所づくり・役割づくり・仲間づくりが必要です」と犬丸氏は話していました。また、地域づくりの最近のキーワードと関連した全国の実践事例が紹介されました。

続いて、犬丸氏がコーディネーターになってのパネルディスカッションが行なわれました。パネリストは、社会福祉法人 恩徳福祉会 介護老人保健施設あかしあ事務長 谷村智昭氏、川上地区福祉委員会委員長 池田敏彦氏、困



「つながり」に関心のある住民が参加しました



りごとサポートこ・こ・わ楠ヶ丘代表 甲斐由紀氏。パネリストたちは、活動に至った背景と目的や、これからの活動の展開について発表しました。

最後に、11グループに分かれた参加者たちは、各地区で行なっている活動を話し合いました。各グループの話し合いを聞いた犬丸氏は「いろいろ課題はあると思いますが、今日参加のみなさんが楽しみながら考え、活動することが大切だと思います。今日のつながりが新しいつながりを生むことを願っています」とまとめていました。



意見交換を行う参加者たち=キックスイベントホール

4月から5月の予定



令和7年4月2日	水	13:00~	会長副会長会議	社会福祉協議会相談室C
令和7年4月9日	水	10:00~	心配ごと相談	社会福祉協議会相談室C
令和7年4月9日	水	13:00~	地区委員長会議	社会福祉協議会会議室
令和7年4月10日	木	9:30~	新任民生委員説明会	市301会議室
令和7年4月23日	水	10:00~12:00	心配ごと相談（みじかサロン）	にぎわいプラ座
令和7年4月30日	水	13:00~	会長副会長会議	社会福祉協議会相談室C
令和7年5月14日	水	10:00~12:00	心配ごと相談	社会福祉協議会相談室C
令和7年5月14日	水	13:00~	地区委員長会議	社会福祉協議会会議室
令和7年5月28日	水	10:00~12:00	心配ごと相談（みじかサロン）	天見公民館
令和7年5月30日	金	13:30~	民生委員大会	河内長野市文化会館ラプリーホール小ホール